

## もったいない「メッセージの宝箱」

金子恵妙（大学院生、社会福祉士）

佐藤・佐久間・りかさま、素敵な試みを紹介いただきありがとうございました。私自身、も乳がんの経験があり、がん患者さんのインタビューやがん関連イベントの取材もしていることがあります。DIPExのことをきょうまで存じ上げず、恥ずかしいかぎりです。

おっしゃるように、がん治療やがん罹患後の生き方の選択肢はたくさんあるのに、有名人のがん罹患の話や個人のブログによる「一人語り」では、メッセージの受けてがそこで紹介された1つの選択しかないと思いこんだり、その人と比べて自分はだめな患者なんじゃないかと落ち込んだりしてしまうリスクがあるように思います。その点で「語りの受け手が主人公」というDIPExの考え方はとても斬新だと感じました。

特に感銘を受けたのは、インタビューをそのまま載せるのではなく、その内容を整理し、例えば「障害学生」に入ると「進路の選択」「合理的配慮をめぐる大学との対話」などピンポイントで自分が知りたいこと、悩んでいる項目に入るようになっている点でした。しかもそこでは複数の方の体験や考え方に触れることができ、選択に悩んだ人にとっては非常に有効な、「私だけなぜ」と孤独を感じている人には勇気を与えるツールになっていると思いました。私自身、乳がんの再建治療に悩んだときに参考にすべきだったと残念に思います。

だからこそ、お話を聞いて強く感じたのは「こんなすばらしいサイトの知名度が低いなんてもったいない！」でした。検索に引っかかりにくいのか、あるいはゆきさんのおっしゃるようにDIPExというネーミングがよくないのか……。

ただ、こうやってお手紙を書いても「DIPEx」と入力するのはちょっと大変ですし、カタカナもいいのかもしれませんが、それでも打ち込みにくいようには感じました。日本人は（私は？）慣れないアルファベットの並びは3文字ぐらいが限度なのかなとも思ったりしています（略すなどして）。

では、どんな名前がいいのかですが、これがなかなか難しい。ただ私が感じているのは、このサイトは「メッセージの宝箱」だということでした。受け取り手の心に響くメッセージがサイトのどこかにきつとあるはず。それが詰まったサイトだから「宝箱」です。サイトの紹介のところに「宝箱」というワードがあってもいいのではないかなと感じました。ただ、団体名はとなると、まだ頭に浮かんできません。お役に立てず申し訳ないです。

信頼できる情報をこんなに簡単に検索できるのは見る人にとって貴重です。人手も資金も必要かとは思いますが、ぜひもっとたくさんの方の語り（宝石）を集めてほしいと心から感じました。貴重なお話をありがとうございました。今後もお活動に注目していきたいと思っています。